

■ 基本方向Ⅰ ジェンダー平等社会の実現に向けた意識改革
【成果指標】

番号	指標名	計画策定時	※参考 2022(R4)年度値	2023 (R5)年度値	目標値2027年	2023年(R5年)度実施状況	担当課
1	「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担の考えに「反対・どちらかといえば反対」という人の割合	女性61.4% 男性56.0% (市民意識調査)			女性75% 男性75%		人権・男女共生課 (市民意識調査)
第2次計画の女性の目標値を継続して設定、男女の目標値を統一							
2	男女共同参画社会推進登録団体数	15団体 (2022.4.1)	16団体	16団体	22団体	16団体(2023.4.1時点)	人権・男女共生課
第2次計画の目標値を継続して設定							

【活動指標】

番号	指標名	計画策定時	※参考 2022(R4)年度値	2023 (R5)年度値	目標値2027年	2023年(R5年)度実施状況	担当課
3	男女共同参画に関する講座の実施回数と事業に参加した子どもの人数	22回/332人 (2021年)	39回/220人 (デートDV講座 含めた場合 41回/409人)	37回/277人 (デートDV講座 含めた場合 40回/827人)	30回/年 2,000人	WAMくらぶ 35回/239人 リコチャレ 3回/38人	人権・男女共生課
第2次計画(改訂版)の目標値を継続して設定							
4	ローズWAMの男女共同参画に関する図書等の貸出冊数	4,889冊 (2021年)	5,073冊	5,453冊	6,600冊	貸出数 5,453点	人権・男女共生課
第2次計画(改訂版)の目標値を継続して設定							
5	再就職セミナーや女性のためのスキルアップ講座の実施回数	17回 (2021年)	7回	5回	25回/年	就職応援セミナー 3回 防災講座 2回	人権・男女共生課
			18回	17回		実践型勤労者スキルアップセミナー 2講座、47人 能力開発講座 2講座6回、18人 就職支援セミナー 2回、55人 女性向け起業セミナー 3講座7回、 58人	商工労政課
第2次計画(改訂版)の目標値を継続して設定							
6	男性の生活能力向上のための講座や事業の実施回数と参加人数	167回/907人 (2021年)	16回/27人	16回/延べ130人	390回/年 2,800人	きらめき講座「男の手料理(基礎・応用)」講座 各8回、延べ人数130人	文化振興課
			15回/444人	14回/405人		おとう飯 6回/96人 初心者男の料理・ヨガ 6回/53人 男女共同参画基礎講座 1回/15人 男女共同参画講演会 1回/241人	人権・男女共生課
			17回/408人	16回/154人		出前講座 16回 154人	長寿介護課
			271回/580人	361回/959人		つどいの広場での男性参加イベント 数 357回 男性参加者数 956人 高校生とのふれあいまなび事業での 男性参加事業実施数 4回 男性参加者数 3人	子育て支援課
第2次計画(改訂版)の目標値を継続して設定							

■ 基本方向Ⅱ 方針の立案・決定過程への女性の参画拡大
【成果指標】

番号	指標名	計画策定時	※参考 2022(R4)年度値	2023 (R5)年度値	目標値2027年	2023年(R5年)度実施状況	担当課
7	市の審議会等における女性委員の割合	34.9% (2022.4.1)	34.9%	34.7%	40%	34.7%(2023.4.1時点)	人権・男女共生課
国の「第5次男女共同参画基本計画」の目標値を参考に設定							
8	管理的地位にある職員に占める女性職員の割合 ※管理的地位にある職員・・・課長級以上の職員	16.2% (2022.4.1)	16.2%	16.9%	20%	管理職(課長級以上)全体148人の うち女性25人	人事課
「茨木市特定事業主行動計画(2020～2024年度)」の目標値を引用(一般行政職を含む全職員) なお2025年度以降は、次期計画の目標値を適用							
9	市立小・中学校長・教頭における女性の割合	21.74% (2022.4.1)	21.74%	18.48%	27%	小学校長:全体32人のうち、女性6 人で18.8% 小学校教頭:全体32人のうち、女性 3人で9.4% 中学校長:全体14人のうち、女性5 人で35.7% 中学校教頭:全体14人のうち、女性 3人で21.4%	教職員課
大阪府の「公立学校における特定事業主行動計画」の目標値及び第2次計画策定時から現状値までの伸び率を参考に設定							
10	自主防災組織の方針決定過程への女性の参画率	27% (2022.4.1)	27.0%	25.0%	35.0%	茨木市自主防災組織 組織数:30 各組織における役員総数:560 (うち女性:142)	危機管理課
第2次計画(改訂版)の目標値を継続							

■ 基本方向Ⅲ 職業生活の充実とワーク・ライフ・バランスの推進
【成果指標】

番号	指標名	計画策定時	※参考 2022(R4)年度値	2023 (R5)年度値	目標値2027年	2023年(R5)年度実施状況	担当課
11	25歳～44歳の女性の就業率	61.1%			78%		人権・男女共生課
	国の2020年の現状値を設定						
12	「仕事」「家庭や地域活動」「個人の生活」など、現実と希望が一致した暮らし方をしている人の割合(市民意識調査)	女性48.4% 男性53.2% (市民意識調査)			女性70% 男性70%		人権・男女共生課 (市民意識調査)
	第2次計画(改訂版)の目標値を継続						
13	市における男性職員の育児休業取得者率	22.2% (2021年)	46.6%	70.4%	現状の高い水準を維持	54人のうち38人	人事課
	「茨木市特定事業主行動計画(2020～2024年度)」の目標値(10%)を達成したため、現状の高い水準を維持することを目標とする。(一般行政職を含む全職員) なお2025年度からは、次期計画の目標値を適用						

【活動指標】

番号	指標名	計画策定時	※参考 2022(R4)年度値	2023 (R5)年度値	目標値2027年	2023年(R5)年度実施状況	担当課
14	パパ&ママクラスのカップルの参加率	75.3% (2021年)	85.0%	95.9%	85%	実施方法:対面での講座 実施回数:12回 参加者数:妊婦244人	子育て支援課
	第2次計画(改訂版)の目標値を継続して設定						

■ 基本方向Ⅳ 多様な立場の人々が安心して暮らせる環境の整備

【成果指標】

番号	指標名	計画策定時	※参考 2022(R4)年度値	2023 (R5)年度値	目標値2027年	2023年(R5)年度実施状況	担当課
15	DVやデートDVにおいて、次のような行為を「どんな場合でも暴力にあたると思う」割合(市民意識調査)	「何を行っても長時間無視し続ける」	48.9% (市民意識調査)			70%	人権・男女共生課 (市民意識調査)
		「大声でどなる」	56.1% (市民意識調査)			70%	
		「交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する」	60.2% (市民意識調査)			70%	
	市民意識調査の前回からの伸び率を参考に設定						
16	暴力を受けた際「相談しようと思わなかった」割合(市民意識調査)	50.4% (市民意識調査)			現状値を下回る		人権・男女共生課 (市民意識調査)
	市民意識調査の現状値を下回ることを目標とする						
17	「女性であること」または「男性であること」によって、負担感や生きづらさを感じたことがある人の割合(市民意識調査)	女性42.2% 男性17.3% (市民意識調査)			現状値を下回る		人権・男女共生課 (市民意識調査)
	市民意識調査の現状値を下回ることを目標とする						
18	乳がん・子宮がん検診受診率	乳がん12.4% 子宮がん16.5% (2021年)	乳がん14.3% 子宮がん18.1%	乳がん14.2% 子宮がん18.4%	乳がん45% 子宮がん45%	健診チケットの送付、市広報やホームページでの周知を行うとともに、20歳子宮がん、40歳乳がん検診の無料クーポンを送付し意識づけの向上を図った。	健康づくり課
	「健康いばらき21・食育推進計画(第3次)(2018～2023年度)」の目標値を引用 なお2024年度からは、次期計画の目標値を適用						

【活動指標】

番号	指標名	計画策定時	※参考 2022(R4)年度値	2023 (R5)年度値	目標値2027年	2023年(R5)年度実施状況	担当課
19	女性に対する暴力防止の啓発や講座の実施回数と参加人数	10回/327人 (2021年)	9回/230人	10回/562人	10回/650人	こころのケア講座 6回/5人 暴力防止啓発講座 1回/7人 デートDV出前講座 3回/550人	人権・男女共生課
	第2次計画(改訂版)の目標値を継続して設定						
20	子ども・若者へのデートDV防止啓発や講座の実施回数と参加人数	3回/3,440人 (2021年)	3回/3,359人	3回/3,670人	27回/年 6,000人	全市立14中学の2年生にデートDV啓発冊子を配布(3,120部) デートDV出前講座 3回/550人	人権・男女共生課
	第2次計画(改訂版)の目標値を継続して設定						

※市民意識調査では、性別を「女性・男性・自由記述」で設問しました。計画策定時の欄には、女性・男性と回答した方のうち、各問に答えられた方の割合を標記しています。